

大阪府市場だより



第385号 令和6年3月29日
 発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1 水産棟3階）
 連絡先 TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp
 U R L https://fu-ichiba.jp



絵：「デコポン」

運営取引業務協議会

条例に基づく標記会議（小野雅之会長）が、3月18日10時から、大阪市内のキャッスルホテルで開催されました。

議題は、「経営戦略の進捗状況」と「市場再整備検討状況」の2点です。

前者について、会長から「収支は良好で推移し、活性化は着実に実施されている。」との話があり、府の報告が了承されました。

後者については、府からこれまでの検討経過が説明されましたが、明日、再整備検討会議で議論されることで、委員から意見はでませんでした。

市場再整備検討会議

3月19日、第6回標記会議（小野雅之座長）が管理棟講堂で開催されました。

卸4社の意見として、

「府の一般会計からの繰り出しを行わないとの方針のもと、整備費等の上振れリスク、民間収益施設からの賃料収入等の下振れリスクがすべて業界負担になると、施設使用料が青天井となることを懸念。基本計画案を一旦リセットし、今後、3年程度かけ個別の課題等を精査し、新たな事業手法も含め、継続して審議すべき。」との考えが示されました。また、「再整備に当たっては、議会で提起されている府内3市場のあり方も年頭に置きながら検討すべき」との意見も出されました。

青果仲卸組合からは、「アンケートの結果、再整備すべきとの意見は、青果仲卸事業者の半分程度であり、再整備ありきでの検討にはならないように。」との意見が出されました。

水産仲卸組合からは、「市場の総意に沿って進んでいく必要があるが、一方で、コロナ禍において経営状況が回復できておらず再整備は厳しい。」との意見が出されました。

府としては、それぞれの意見に配慮する形で、「昨今の社会情勢等を踏まえ、再整備に向けた検討スケジュールを見直し、令和9年度当初に府から場内事業者に対し再整備に関する意向を改めて確認のうえ再整備に向けた検討を再開するかどうかを検討する。また、それまでの間、これまでの検討を踏まえ、こういった機能が新市場に必要かといった根本的な部分について場内事業者から提案をいただきたい。」

なお、売りの場の低温化などについては、当面の措置として企業会計の範囲内で、どのような対応が可能であるのか場内事業者と協議する。」との意見が出されました。

最後に小野座長より、「基本計画案の策定を前提とした検討は行わないとの意見が多数と理解。今後、市場活性化をどのように進めるのかをはじめ、施設の効率的な利用方法など、ソフト面での検討を事業者の皆様の中で検討を進めていただきたい。」とのまとめがなされました。

また、3月18日には同組合役員とJA関係者10名が府市場に初めて来場され、三木社長及び西田理事長も交え、販促等事業活動の推進に向けた実りある意見交換がなされました。



組合の胡桃坂組合長より管理ターに感謝状が贈呈されました。
今回の授与は府市場の認知度の向上や産地特産物の販売促進に繋がる取組が高く評価されたものです。



管理ターでは、かねてより市場活性化対策の一環として産地との連携の強化に務めています。これを契機に他の産地も含め更なる連携強化に努めていくとしています。



青果仲卸店舗が所有する計量器210台の検査を3日かけて実施しました。
電気式が137台、ばね式が73台のうち、電気式で1台、ばね式で3台が不合格になりました。

計量器の検査



「手作りみそ玉のお味噌汁」の調理実習と試食を行いました。

2月29日、管理棟7階講堂で約50人が参加して標記訓練が実施されました。まず、大阪ガスネットワーク(株)の廣瀬頼子氏を講師に迎え「災害が起きると生活はどうなる？」をテーマに日本でも過去に起こった自然災害、特に「地震」によるライフライン被害と災害後の暮らしなどについて講義していただきました。



続いて「災害時の食事は？」をテーマに、(株)大阪ガスッキングスクールのチーフインストラクターであり栄養士と食品衛生管理者でもある藤原恵子氏と弓場都公子氏の指導のもと、今回初めて、「なべで炊くご飯」「水を使わないサバイバル鍋」「手作りみそ玉のお味噌汁」の調理実習と試食を行いました。

防災訓練



4月6日～15日、標記運動週間です。交通安全に特に留意しましょう。

○献血への協力
12日午前10～午後1時、管理棟前で献血が実施されます。皆さんの協力をよろしくお願いします。
○春の全国交通安全運動
4月6日～15日、標記運動週間です。交通安全に特に留意しましょう。

人事異動

開設者を中心に新年度の異動があります。

来月のお知らせ



3月15日の朝、水産が8時半、青果は12時より大掃除が実施されました。

春の大掃除

種類	数量 (kg)	前年比%	金額 (千円)	前年比%	
青果計	野菜	122,904,100	101.0	30,753,841	102.7
	果実	45,365,609	92.5	20,489,627	100.4
	小計	168,269,709	98.6	51,243,467	101.8
水産物計	生鮮水産物	13,415,341	96.4	15,661,950	100.5
	冷凍水産物	1,996,381	98.2	3,016,482	97.1
	加工水産物	7,465,592	89.4	10,577,703	102.4
	冷凍食品	3,803,371	95.5	2,216,294	102.3
	小計	26,680,685	94.3	31,472,429	100.9
総計	194,950,394	98.0	82,715,898	101.5	

《4月～2月・累月》

種類	数量 (kg)	前年比%	金額 (千円)	前年比%	
青果計	野菜	11,404,344	121.8	2,627,622	120.4
	果実	3,838,937	94.0	1,915,080	102.3
	小計	15,243,281	113.4	4,542,702	112.0
水産物計	生鮮水産物	1,067,415	89.5	1,295,046	84.7
	冷凍水産物	147,572	93.1	204,743	96.3
	加工水産物	570,425	91.4	728,352	100.3
	冷凍食品	306,970	110.6	180,334	115.5
	小計	2,092,382	92.9	2,408,474	91.8
総計	17,335,663	110.4	6,951,177	104.1	

《2月・単月》

市場取扱高

出店場所：管理棟前駐車場 4月

キッチンカースケジュール

※休場日により、日替変更、中止させて頂く場合がございます。

日	月	文	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	5/1	5/2	5/3	5/4

9:00~16:00
A 太藤の庵
かしー

9:00~14:00
B Kitchan 建やAnoここ
キッチンカー
オチノチ
オチノチ

11:00~16:00
C KENTOKU KITCHEN
ハンバーガー

11:00~16:00
D Kitahensher チツチ
ホットサンド

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

《4/1~2/29》

人身事故	5件(5件)
物損事故	53件(33件)
うち市場内施設 の物損※	19件(8件)
うち車両同士衝突	34件(25件)
合計	58件(38件)

()は昨年度の件数

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

人事異動(市場転入)

※敬称略(前職)

■(株)うおいち(4月1日付)

▽北部加工食品部部長(大阪加工食品部部長) 渡辺徹

■市場協会(4月1日付)

▽事務局長(府監査委員事務局) 杉本一郎

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

衛生検査

衛検の検査を衛生管理計画の見直しに役立てましょう!

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

○令和6年度 場内流通品検査予定

4月2日(火)	10月7日(月)
5月13日(月)	11月11日(月)
6月3日(月)	12月3日(火)
7月8日(月)	1月7日(火)
8月5日(月)	2月12日(水)
9月9日(月)	3月10日(月)

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

産地との連携

3月7日、岐阜県「飛騨蔬菜出荷組合2023年度販売額100億円達成記念大会」がひだホテルプラザ(岐阜県高山市)で開催され、県、市、JA、市場関係者や組合員ら約140人が参加し、管理ターゲが飛騨の魅力発信及び飛騨野菜の販売促進に貢献したことに對して飛騨蔬菜出荷

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

○交通安全対策
・場内交通事故の多発

指定管理者評価委員会

標記委員会（藤田武弘委員長）が3月1日の午後から大阪市内の国民會館で開催されました。

議題は令和5年度の指定管理者の取組みに関する評価についてです。

結果は全11項目のうち、8項目がS評価(計画を上回る優良な実施状況)であり、残り5項目がA評価(計画どおり良好な実施状況)となり、5年度の総合評価も「S」という極めて高い評価となりました。

なお、委員からは、人身など事故へのさらなる対応強化、市場利用者の満足度調査の実施、パワハラなど人権研修の充実、後進の育成など指定管理者の組織の体制づくりなどについて意見が出されました。



常駐代表者会議

標記会議(三木博司議長)が3月21日、開催されました。議事概要は次のとおりです。

府からの報告

5年度の取扱高等前年度比較で、市場全体の取扱高は金額ベースで約118億円、1.5%の増加、直接集荷は金額ベースで約8.7億円、7.7%の増加。

府議会で質疑

下段を参照

臨時休開場日の設定

6月の全国中央市場協会近畿支部の統一案の設定にあたり、青果・水産それぞれとりまとめた意見について、当市場意見として要望する。

その他

3月19日の第6回市場再整備検討会議の結論については、府の方から改めて関係者に周知する。また、令和4年度からの検討経過を整理した経過報告書を府において作成の上、場内事業者に配布する。

管理タリからの報告

活性化事業

ハード事業

水産せり場7、8番柱間床面改修工事(1/9~3/27)

正門前ハイボール灯のLED化

今後、順次、場内のハイボール灯のLED化を予定。

維新代表質問(公野議員・東大阪市)

質問 府民の貴重な財産を活用しながら、当初の方針と異なる民間資本を活用し将来にわたる自立的な運営が可能となるよう再整備を検討すべき。
答弁 現時点の試算では、使用料倍率が再整備を進めている他市場と同水準になっており、また、将来リスクへの備えとして総事業費に10%の予備費を計上。今後、施設規模のさらなる精査等を行い、一般会計からの繰り出しがなくても自立的な運営が可能となる再整備が進められるよう協議を進める。
質問 府市場の再整備にあたっては将来の課題にしっかりと対応できるように府市において連携強化を図る必要がある。
答弁 将来を見据え、府内3市場の役割分担なども考慮し府と市で意見交換等を行いながら連携施策の検討を進める。
自民代表質問(かた議員・城東区)

質問 予定どおり進んでいない原因は何か。
答弁 場内事業者から「将来リスクの負担に押しつけがましい」との意見が出ている。このリスクの影響から経営状況が回復しておらず再整備に向けた検討を立ち止めるべき」といった意見が出ており、現在、場内事業者において協議中。
質問 国基準がある中で一般会計から何故繰り出しを行わないのか。
答弁 府が所有する敷地の一部を民間事業者に貸し出し、そこから得られる収入の全額を再整備費用に充当することとしている。また、施設規模の適正化を図ること、一般会計から繰り出しがなくても他市場の使用料引き上げ率以下に抑えられる見込みであり、当初の方針に基づき、検討を行うことが可能と判断。
質問 使用料倍率が一定の数値を上回った場合、開設者である府がリスクを負担すべき。
答弁 今後、施設規模のさらなる精査や仕様等の見直しなどを行い、使用料水準を下げていくことが整備費の上振れリスクの備えに繋がっていくと認識。

環境産業労働委員会(公明・中野議員・茨木市)
答弁者は田中市場・検査指導課長
質問 市場再整備の計画策定に係る現在までの検討経過を問う。
答弁 検討協議を続ける中、場内事業者から「一般会計から公費を投入すべき」「経営状況が回復しておらず再整備に向けた検討を立ち止めるべき」といった意見が出ている。令和5年12月開催の検討会議で「民間資本の活用を前提とし、将来にわたる自立的な運営が可能となるよう検討を行う」との当初の方針に変わりはない旨を説明。現在、場内事業者と協議が行われており、3月19日に検討方針を決定予定。

質問 立ち止まった場合には、当面の措置として「コールセンターへの対応など、場内事業者の声をしっかりと聞いて対応されたい。
答弁 当面の措置として、企業会計内でのような対応が可能であるか場内事業者と協議する。

ソフト事業

消防訓練

3月12日、管理棟7階講堂で消防訓練が実施され、37人が参加。冒頭、管理タリ宮前専務から挨拶、続いて同タリ中井氏の進行で管理棟階段を使った避難訓練や水消火器による消火訓練を実施。

産地との連携

「飛騨野菜出荷組合販売金額100億円達成記念大会」にて管理タリに感謝状贈呈(3/7)。

4ページ参照

市場見学・視察
・京阪百貨店「中央市場お買い物見学ツアー」(4/12)
※協力:北果、(株)林田商店、(株)拓新水産



維持補修事業

3月20日現在、191件、6138万円

青果B「ミ」集積所前舗装修繕工事、青果D「ミ」集積所土間修繕工事など。

府依頼事業

水産棟屋上防水改修(2/9完成、水産仲卸A棟動力盤改修(3/5完成)の2件の工事。

ごみ関連

不法投棄

2月は2件で、対策開始前に比べて約99%の減。
※投棄場所:「ミ」集積場周辺
発見次第、防犯カメラで確認、投棄者が確認できれば自主回収の働きかけ。
悪質な持込投棄・不法投棄には入場禁止等の行政処分、警察への通報。
青果くすの排出
2月までの累計
対前年比で排出量は約7%減、処理費用は約3%減。
大量投棄の際は、受け入れ態勢の確保及び食品ロス削減のため、事前に管理タリまで連絡を！
木製廃棄パレットの排出
2月までの累計
対前年比で排出量は約8%減、処理費用は約14%増。
引き続き更なる削減を目指し、外部の持ち込み禁止、利用可能なパレットの再利用の徹底を！
一般廃棄物の排出
2月までの累計
対前年比で排出量は約2%減、処理費用は約48%増。
※茨木市の処理費用
4月より1.5倍にアップ。
今後の状況を見極めて管理タリの負担割合の見直しを検討。

禁煙対策
通告書等交付件数
3/20現在、通告書交付は385件(うち場外は103件)。
警告書交付(再違反者)は31件→さらに累犯で入場禁止。